
恋姫†無双 ～ 仮面鍬形伝 ～

通りすがりの仮面ライダー

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

恋姫†無双 〜仮面鍬形伝〜

【Nコード】

N3577J

【作者名】

通りすがりの仮面ライダー

【あらすじ】

この小説は、作者がノリと勢いで書き始めた『恋姫†無双^{アニメ}』と『仮面ライダークウガ』にオリキャラを混ぜたクロス小説となっております。

ある日、普通に現代で過ごしていた少年、^{ヨウラン}揺爛（偽名）は暇を持て余していたダメ人間ならぬダメ神の暇つぶしによりアークルを埋め込まれてしまう。更に右も左も分からないような異世界に飛ばされ

てしまう。そこで揺爛は山賊に襲われた所を黒髪の女性に助けられ
…？

注意！

作者は恋姫のアニメの内容が把握しきれていないので、作者がY
o u T u b eなどで本編動画を観ながらの更新となるので、不定期
更新となります

作者は恋姫の原作^{ゲーム}については微塵たりとも知らないので、一刀は
出ません

作者はクウガの本編がうる覚えな為、本家クウガの人も、まして
やディケイドの空気クウガの人も出ません。変身するのはオリキヤ
ラ主人公です。

少年、神に会うとのこと（前書き）

厨二病？気にするな！

少年、神に会うとのこと

少年「……………ここどこ？」

何もない真っ白な空間の中、少年は立ち上がる。少年の容姿は黒髪
のオールバックに黒目、パーカーとデニムという純普通の日本人の
格好だった

少年（よし、情報を整理しよう…俺はさっきまで自室でP・Pを使
ってガ●ダムVS●ンダムN●XT●LUSをプレイしていて、
眠くなったから1度●SPをスリープに切り替えてベッドで昼寝し
て、起きたらここに…うん、分かん！）「だーれかー！助けてー
！…！」

ヤケクソになった少年は白い空間を走り回る。しかし…

少年「ハア…ハア…出口っぽい物もロクに無い…」

どれだけ走ろうとも見えるのは真っ白な空間の地平線らしきものだ
け。終わりは見えない

少年「っーか…何も無いせいで前進してるかどうかも分からん…」

「???」「おーい少年、大丈夫か？」

少年「声！？誰か、誰かいるのか！？」

少年が藁をも掴む思いで左右を見回して声の主を探すか…

「……後ろを見る、後ろを……」

少年「ウエ!？」

少年が振り向くとそこには……

銀髪天然パーマの死んだ魚のような目をした男性が立っていた

少年「……え?何?シルバーボール?シルバーボールなのか?」

「……?」男性「シルバーボールってお前、それを言うならシルバーソウルだろうが……まあどの道あつちの主人公とは無関係だけどな……」

少年「は、はあ……」

男性のペースについていけず軽く置いてけぼりになる

男性「まあお前が聞きたいことはだいたい分かるから……ここがどこか、俺は誰か、帰れるのか……だろ?」

少年「……まあそんな感じだけど……」

男性「じゃ、言うぞー……まず1つ目、ここは俺が作った空間、俺とお前以外の生物はいねえ」

少年「は?作ったって「じゃ、2つ目だが……」話聞けや……」

男性が自分の話を聞こうともしない態度に呆れつつも話を聞く

男性「俺は神様、だからお前をここに連れてこれたんだよ。オーケー？」

少年「ハアアアア！！？待てや！全然OKじゃNEEEEE！！」

男性↓神「うつせーな…ちったあ静かにしたらどうだ？」

少年「……把握」

神に叱られてとりあえずは静かにする

神「最後に3つ目だが…お前は帰れん！以上！」

少年「へー！帰れないのか、そーなのか…」

つてええええええええええ！！！！？」

少年、帰還不可能通告の瞬間だった

少年、神に会うとのこと（後書き）

（一）
とりあえずこんな感じでやっていきますので、よろしくです（一）
（三）
（一）

少年、力を手に入れること（前書き）

よし、これでようやく…って、主人公がトリップするのに2話も使
うとは…orz

少年、力を手に入れること

少年「ちょ、帰れないってどういうことだよ!？」

神「はい、説明しましょー」

本当に説明する気なのかよく分からないが、とりあえず少年は聞くことにする

神「あゝ実はだな…俺が最近暇しててだな、暇つぶしのつもりでどつかの世界になんかの力を渡してから飛ばすやつを決めようと思つてな、見事お前が選ばれたんだよ。」

少年（…あれゝ？今湧いてきたこのどす黒い感情、世間一般で『殺意』って言うんじゃないかなかったっけ？）「…じゃあ何？俺…暇を持て余した神のおふざけでどつかに行くの？へえー…そう…」

つてふざけんなー!!!!!!!!!!!!!!」

随分と溜めてから一気にキレる

少年「てめえ、高校生ナメんなコラア！！将来の夢が自宅警備員な高校生ナメんなア！！！」

神「ギヤーギヤーギヤーやかましいんだよ、発情期ですかコノヤロー…っ！か何気にテメーダメ人間じゃねーか…ま、それはともかく…お前自身、今までの世界に未練なんてあつたのか？」

少年「ッ！…それは……」

神の言葉に思わず少年は口を閉ざす。事実、彼は学校に行つてもただ友人とバカやって家でもゲームやつたりアニメ観たり…成績も赤点ギリギリの、ダメ人間を絵に描いたかのような人物だった

神「ま、そんなお前に白羽の矢が立つたつてわけだ。」

少年「ふーん…で？俺はどんな力を渡されるんだ？…まさか！境界を操る程だ「はいいストーッブ！！」な、何だよ？」

神「いや、さすがにそれはヤベーから！！東●じゃねーから！この小説●方かんけーねーから！！！」

いろいろと危ない発言をしつつも、二人とも一息ついて話を戻す

神「あー…能力じゃあねーが…おめーさんが興味のあるモンをくれてやるよ、ホレ！」

神がどこからともなく…というより着物の裾らしきところから銀色の輪っかを取り出す。ベルトにも見えるその輪っかには紋様…否、古代文字らしきものが黒字で刻まれており、正面中央には透明な玉が埋め込まれており、左右には丸みをおびた突起が付いており、左

の突起の上部にはスイッチらしき物まで付いている。少年はその外見を見た瞬間にすぐその物体の正体を見抜いた

少年「これ…アークルか！？あの仮面ライダークウガの！！」

そう、それこそが少年が元いた世界で特撮番組として放送されていた『仮面ライダークウガ』の変身ベルト、アークルなのだ

少年「何でったってこんなものが…」

神「そいつか？ったく、面倒だったけどよ…五代が派手に壊したアークルを一から修復するなんざよ…」

神の何気ない一言に、少年は言葉を失った

少年「……ご、五代がって…あの物語は実在するのか！？」

神「あ？そんなの当たり前だろうがよ…」

少年「…SUGEEEEEE！！」

あまりの事態に歓喜の叫びを上げる

少年「え！？じゃあこのアークルは五代が使っていたアークルと同じ物なのか！？複製品とかじゃなくて！」

神「そうだがよ、ちったあ落ち着け…話が進まん」

少年「了解……あ、そういえばアークルって付ける時に凄い痛いんじゃない…？」

少年（昔の中国ねえ…）「お、そうだ！揺爛《ようらん》って言うのはどうだ？」

神「揺爛ねえ…女みてーだな…」

少年↓揺爛「…うるせえ……」

今さらながらに恥ずかしくなったのか、揺爛はうつむいてしまう

神「…ま、それでいいとして…そろそろ送るぞー…」

揺爛「お？おお…」（遂にか…実感湧かねーな…）

揺爛の目の前に白い光の塊が現れ、恐らくそれが別世界への入り口なのだろうと判断した揺爛は迷うことなく光に向かって歩いていき、その姿を消した

神「…俺じゃあ出来ないことが、テメーにはできんだ…やりとげろよ、揺爛…」

神の呟きは、誰にも聞かれることはなかった…

少年、力を手に入れるのこと（後書き）

ところで読んでくださる皆様へ質問が…

ズバリ！ヒロイン（互いに好きになるキャラ）は必要か？

仮にヒロインが必要となった場合は関羽にしますm（　）m（　）
現状ではヒロインつけようかな〜と考えてますので、投票が0だった場合は関羽がヒロインとして小説が進行します（　）

投票は感想を書く所にてお願いしますm（　）m（　）m

揺爛 解説（前書き）

とりあえずアンケートについては2010年1月16日（土）午前
05:00をもってして、切とさせていただきます（――）m

それまでの間に主人公& a m p : 神（笑）のプロフィールを載せて
おきます

揺爛 解説

名前 揺爛《ようらん》

字 ？？？（後から本編にて出ます）

真名 ？？？（後から本編にて出ます）

性別 男

年齢 16歳

戦闘方法 クウガに変身して戦う

容姿 黒髪のおールバック、紅と蒼のオッドアイ（トリップ後）

能力 フラグブレイカー（笑）

備考 ダメ人間ならぬダメ神様の暇つぶしに巻き込まれ、クウガにされてから異世界に飛ばされてしまった不幸な少年。元々いた世界では親とは仲が悪く、学校でも友人とバカやっていたが自分のクラスには友人がいないため、友人に会う時以外は影が薄い人だった。そのため元いた世界に未練はあまり無く、『帰れるなら帰りたい』位のレベルである。重度の特撮好きでもあり、トリップ前まで放送していた仮面ライダーはキバまでということになっている。また、彼の世界ではキバ以降の平成ライダー作品が存在せず、その時間はアニメになってしまっている。彼自身も神と同じくダメ人間だったが、恋姫のキャラ達と触れ合う内に真人間へと成長していく…かも知れない（笑）

揺爛 解説（後書き）

いかがでしょうか？

次は神の設定を書きます m ((m

神 解説（前書き）

投票の結果、ヒロイン関羽で決まりました！！

投票してくださった方、ありがとうございますm（ （ m

神 解説

名前 神《かみ》

性別 男

年齢 ???

戦闘方法 ???

容姿 銀髪天然パーマに死んだ魚のような目、真っ白な白衣…分かる方は『眼鏡とキャンディーを取った銀八』と考えていただきたい

能力 ???

備考 何を考えているのか分からない、揺爛の世界の神様。揺爛をクウガにして別世界へと飛ばした理由は暇つぶしと言っていたが…？先ほどの揺爛の解説部には書かれていないが、実はクウガの力と共に別な能力を与えている

神「はあゝい、次はキングゴングのお二人、よろしくうゝ…」

……

……

…

神「…はあゝい、次はキングコングのお二人、よろしくうゝ…」

………

………

…

神「…あれ？なんで終わんねーの？」

ダメガネ「先生、これアニメじゃありません」

神 解説（後書き）

次はいよいよ恋姫世界にトリップです！！

以下、作者脳内妄想による子供向けアニメでよくある次回予告

次回 恋姫†無双 ～仮面鍬形伝～

『少年、三国の地に降り立つのこと』

揺爛「みんな、絶対見てくれよな！！」

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、たんのう堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n3577j/>

恋姫†無双 ～仮面鍬形伝～

2010年10月12日08時03分発行